

**製品名: サイクリン C (リン酸化 Ser275) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04520**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	33-37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CCNC
別名	CCNC; Cyclin-C; SRB11 homolog; hSRB11
遺伝子 ID	892.0
SwissProt ID	P24863
免疫原	抗血清は、ヒトサイクリン C の Ser275 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 234-283

**背景**

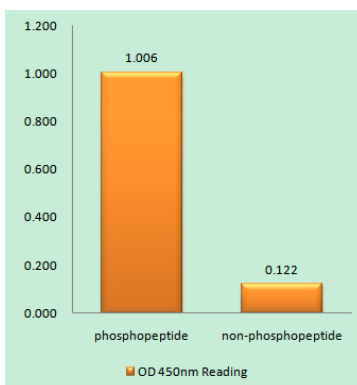
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、サイクリンファミリーに属する。コードされるタンパク質はサイクリン依存性キ

ナーゼ 8 と相互作用し、RNA ポリメラーゼ II の大サブユニットのカルボキシ末端ドメインのリン酸化を誘導する。この遺伝子の mRNA レベルは、細胞周期の G1 期にピークに達する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ほぼすべての RNA ポリメラーゼ II 依存性遺伝子の転写調節に関与するコアクチベーターであるメディエーター複合体の構成要素。メディエーターは、遺伝子特異的な調節タンパク質から RNA ポリメラーゼ II の基本的な転写機構に情報を伝達する橋渡しとして機能する。メディエーターは、調節タンパク質との直接相互作用によってプロモーターにリクルートされ、RNA ポリメラーゼ II および一般的な転写因子との機能的な転写開始前複合体を組み立てるための足場として機能する。RNA ポリメラーゼ II (RNAP II) の大サブユニットの CTD (C 末端ドメイン) をリン酸化して転写開始複合体の形成を阻害するサイクリン依存性キナーゼ cdk8 に結合して活性化します。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、類似性: サイクリンファミリーに属します。、類似性: サイクリンファミリーに属します。サイクリン C サブファミリー。、類似性: サイクリン N 末端ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: メディエーター複合体の構成要素であり、MED1、MED4、MED6、MED7、MED8、MED9、MED10、MED11、MED12、MED13、MED13L、MED14、MED15、MED16、MED17、MED18、MED19、MED20、MED21、MED22、MED23、MED24、MED25、MED26、MED27、MED29、MED30、MED31、CCNC、CDK8、および CDC2L6/CDK11 から構成される。MED12、MED13、CCNC、および CDK8 サブユニットは、CDK8 モジュールと呼ばれる独立したモジュールを形成する。CDK8 モジュールを含むメディエーターは、このモジュールを欠くメディエーターよりも転写活性化の促進活性が低い。1 つ以上の異なるサブユニットを欠くメディエーター複合体の個々の調製物は、ARC、CRSP、DRIP、PC2、SMCC、TRAP など様々な名称で呼ばれている。CCNC/CDK8 によって形成されるサイクリン/CDK ペアは、RNA ポリメラーゼ II のラージサブユニットとも会合する。、組織特異性: 膵臓で最高濃度。心臓、肝臓、骨格筋、腎臓で高濃度。脳では低濃度。、

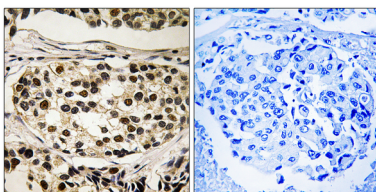
## 研究分野

-

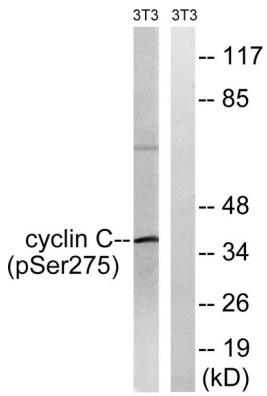
## 画像データ



サイクリン C (リン酸化 Ser275) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



サイクリン C (リン酸化 Ser275) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



UV 15 '処理した NIH/3T3 細胞のライセートを、サイクリン C (リン酸化 Ser275) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。